

## 1. 酪農経営診断分析結果の概要

### (1) 家族労働力及び酪農従事者の構成

本年度は 4 事例の集計で、経産牛常時飼養頭数が 31.8 頭規模となり、家族人数は 3～7 人で平均 5 人という経営体の中で、家族労働人数は平均 3.0 人となっていた。

### (2) 自給飼料生産面積

自給飼料作付け延べ面積の平均は 555a となっている。

酪農経営においては、粗飼料の確保や環境保全対策が経営に大きな影響を及ぼすため、立地条件に則した自給飼料生産を行い不足分について購入飼料で補う等の経営形態が望ましい。

### (3) 飼 養 規 模

経産牛常時飼養頭数は、平均 31.8 頭となっている。

本県の酪農経営 1 戸当たりの平均飼養頭数は 78.8 頭 (H23 畜産統計) となっており、今回分析対象の経営体は小規模経営であった。

### (4) 飼養管理技術 (生産性)

#### 1) 平均産次数

経産牛 1 頭当たりの平均産次数は、2.4 産で更新が早い傾向となっている。個別に見ると 2.1 産から 3.0 産の開きがある。

乳質の高さを要求される中で耐用年数が短くなる傾向にある。経営の安定を図るには、供用年数の延長〔平均産次 3 産を目標〕、長命連産を実現できるような飼養環境を整え健康な牛づくりを心掛けることが重要である。

#### 2) 平均分娩間隔

経産牛 1 頭当たりの平均分娩間隔は、16.3 ヶ月であった。平均分娩間隔が約 1 ヶ月延びることは、年間産乳量に大きく影響するため分娩間隔の短縮が重要な課題である。

ちなみに、年間平均分娩間隔が 12.5 ヶ月になれば泌乳ピークが高く年間産乳量が最も多いとされている。

## 平成 24 年度畜産コンサルタント委託事業

### 〔酪農経営診断分析結果〕

本年の事例では、最も良い分娩間隔で 14.6 ヶ月となっている。平均分娩間隔の目標を当面 13.5 ヶ月にして飼養管理の徹底を図ることが必要である。

#### 3) 経産牛 1 頭当たりの年間産乳量

経産牛 1 頭当たりの年間産乳量は、8,164 kg であった。

事例間では、最少 6,496 kg から最多 9,790 kg と 3,200 kg の格差となっている。

本年度は、購入飼料費が高止まりの状況にあった。搾乳牛 1 頭あたり 1 日の産乳量を 33 kg 以上、経産牛 1 頭当たりの年間産乳量で 9000 kg を目標として経営することが必要である。

#### 4) 乳 質

年間の平均乳脂肪率は、3.88%、無脂固形分率は、8.72%、細菌数は、2.9 万個、体細胞数は、22.12 万個の結果であった。

体細胞数は、20 万以下を目標とすることが収入の増加につながる。

#### (5) 乳飼比

本年度の対象事例の乳飼比の平均は、61.3% となっている。事例間では、51.0%~72.8% と 21.8% もの差が出ている。

これは、飼料価格が高値で推移している事や、自給飼料生産面積の関係もあるが、生乳年間生産量、特に経産牛 1 頭当たりの年間産乳量に 3,294 kg もの差があることが要因となっている。

経営の概要及び主な収益性・生産性の概要 2011. 1. 1～2011. 12. 31

		A	B	C	D	平均	
経営の概要	家族人数 (人)	7	5	5	3	5	
	家族労働人数 (人)	4	3	2	3	3	
	経産牛飼養頭数 (頭)	38.8	25.8	41.3	21.3	31.8	
	飼料生産延べ面積 (a)	250	400	530	1,040	555	
	年間総産乳量 (kg)	261,971	167,592	404,319	204,853	259,684	
	年間子牛販売頭数 (頭)	21	12	17	16	17	
収益性	家族労働力1人当たり年間経常所得 (千円)	-245,000	-1,382,000	2,950,000	416,000	434,750	
	経産牛1頭当たり年間経常所得 (円)	-7,592	-155,334	228,577	46,864	28,129	
	所得率 (%)	-1.1	-23.4	22.4	4.1	0.5	
	経産牛1頭当たり 売上原価内訳	売上高 (円)	672,331	663,560	1,020,161	1,132,162	872,054
		内牛乳販売収入 (円)	672,331	658,264	983,245	999,439	828,320
		売上原価 (円)	629,209	854,806	861,617	21,972	591,901
		内もと畜費 (円)					
		購入飼料費 (円)	425,467	479,006	570,361	573,816	512,163
		減価償却費 (円)	76,653	190,080	121,484	121,679	127,474
		労働費 (円)	9,838	223,411	170,395	245,469	162,278
生産性	経産牛1頭当たり年間産乳量 (kg)	6,752	6,496	9,790	9,618	8,164	
	平均分娩間隔 (ヶ月)	16.1	17.6	14.6	16.9	16.3	
	平均産次数 (産)	3.0	2.2	2.3	2.1	2.4	
	乳量1kg当たり平均乳価 (円)	99.58	101.34	100.44	103.92	101.32	
	平均乳脂率 (%)	3.84	4.15	3.82	3.71	3.88	
	平均無脂固形分率 (%)	8.54	8.87	8.79	8.67	8.72	
	平均細菌数 (万/ml)	2.60	3.00	3.00	3.00	2.90	
	平均体細胞数 (万/ml)	40.75	30.25	5.80	11.66	22.12	
	労働力1人当たり経産牛飼養頭数 (頭)	32.3	8.9	12.5	8.9	15.7	
	経産牛1頭当たり年間労働時間 (h)	63.9	204.8	144.3	193.6	151.7	
	経産牛1頭当たり飼料生産延べ面積 (a)	6.4	15.5	12.8	48.8	20.9	
	乳飼比 (%)	63.3	72.8	58.0	51.0	61.3	